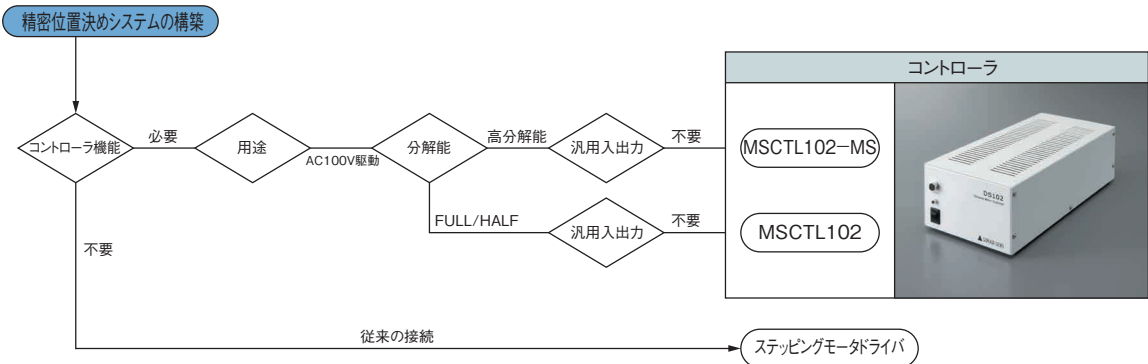


● CADデータは弊社WEB (<http://jp.misumi-ec.com/>) でご確認ください。

■選定フローチャート



原点復帰方法

●推奨の原点復帰方法

センサ数量	ステージ型番	原点復帰Type
1	RMPG, RMDG	3,4,9,10
2	XCVL/XCVLC, RMBG	5,6,11,12
3	XCVL/XCVLC, XMSG*, XCR, ZLMPG, ZLMPGTG, RMBG, GMPBG*, RMWG, GMPG	3,4,9,10

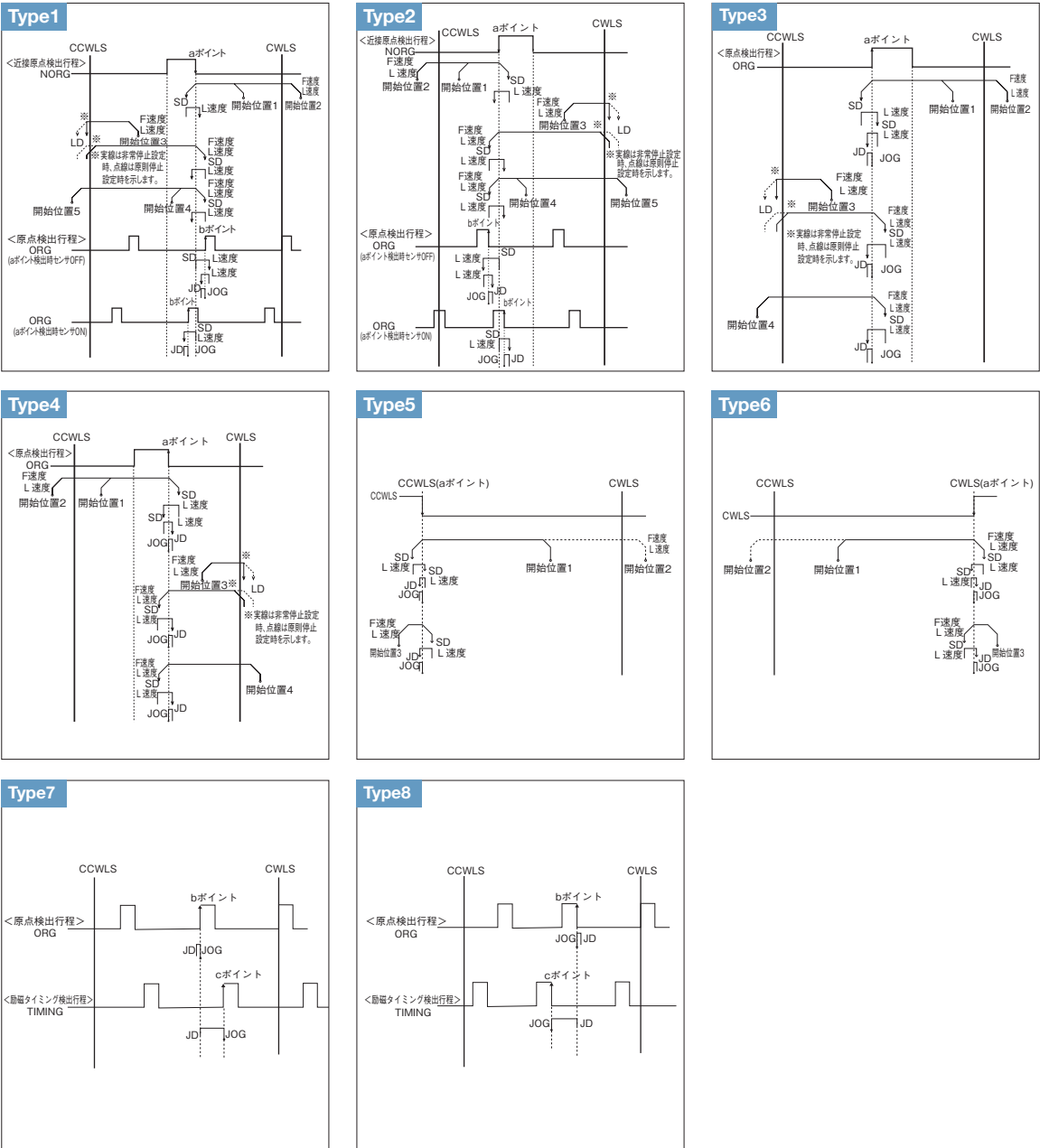
(\*)印はセンサ4つ搭載のステージです。このタイプのステージを使用する場合は、「ケーブルなし」を選択し、4センサ対応ケーブル (MS4CB) を別途ご購入ください。推奨原点復帰タイプは1、2、7、8となります。

●原点復帰Type一覧表

タイプ	動作
Type0	原点復帰を実行しません。
Type1	CCW方向へ検出し、NORG信号のCWサイド(aポイント)の検出工程を行います。その後、ORG信号のCCWサイド(bポイント)の検出工程を行います。
Type2	CW方向へ検出し、NORG信号のCCWサイド(aポイント)の検出工程を行います。その後、ORG信号のCWサイド(bポイント)の検出工程を行います。
Type3	CCW方向へ検出し、ORG信号のCCWサイド(aポイント)の検出工程を行います。
Type4	CW方向へ検出し、ORG信号のCWサイド(aポイント)の検出工程を行います。
Type5	CCW方向へ検出し、CCWLS信号のCWサイド(aポイント)の検出工程を行います。
Type6	CW方向へ検出し、CWLS信号のCCWサイド(aポイント)の検出工程を行います。
Type7	Type1の実行後、TIMING信号のCCWサイド(cポイント)の検出工程を行います。
Type8	Type2の実行後、TIMING信号のCWサイド(cポイント)の検出工程を行います。
Type9	Type3の実行後、TIMING信号のCCWサイドの検出工程を行います。
Type10	Type4の実行後、TIMING信号のCWサイドの検出工程を行います。
Type11	Type5の実行後、TIMING信号のCCWサイドの検出工程を行います。
Type12	Type6の実行後、TIMING信号のCWサイドの検出工程を行います。

● Type1～8の原点復帰タイミング制御は右ページの通りです。

原点復帰タイミング制御



●TIMING信号による原点復帰 (Type7～12)

ステッピングモータの励磁状態はドライバで規定された励磁原点の場合、TIMING出力がONとなります。(ステップ角が0.72°のモータの場合、10°/スルスごとのTIMINGがONとなります。)

ステージの原点センサとTIMING出力でAND回路を構成すると、原点センサ内のモータ停止位置の誤差を抑えることができ、より正確に原点を検出できます。

○	検出開始位置
●	検出完了位置
F速度	駆動速度 (設定速度)
L速度	始動速度 (設定速度)
JD (JOG)	検出JOG間隔 (JD=L速度)
LD	リミット検出停止時間300msec
SD	センサ検出停止時間300msec